

令和 4年度

事務事業評価表 (令和 3年度 の実績評価)

記入年月日
令和 4 年 4 月 11 日

事務事業名		公立学校施設営繕管理事務				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020103000140
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201		学校教育の充実				課長名	学校教育課
	政策名	02		生きがいを育む学びのまちづくり				グループ	営繕グループ
	施策名	01		学校教育の充実				担当者名	
	手段名	03		③教育環境の整備					
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	02	00	事務局事業		
法令根拠						桜川市教育委員会事務局組織規則			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>市内公立学校の環境の整備を図るため、営繕業務及び施設管理業務を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の公立学校施設整備や営繕業務に係る団体の勉強会や視察研修会へ参加することで、市内学校施設の耐震化の促進や質的な向上の手法等を研修する。(負担金の支払い) ・市内学校のHP運用管理の委託や機器の整備を図る。 ・各学校の除草作業をシルバー等に委託し、公立学校の環境整備を図る。 <p>※事務局費の中の企画営繕グループ担当の事務事業を集約した。</p>	<p>市内学校のHP運用管理の委託、公立学校の除草作業の委託 視察及び意見交換会への参加、使用料及び負担金の支払い</p> <p>○事業費 消耗品費【営繕関係図書購入】 委託料【HP運用管理委託、環境整備委託料：シルバー委託、敷地内草等処分委託】 使用料【県営繕単価データ利用料】 負担金(参画事業)【公立学校施設整備期成会、営繕主務者会議、筑西広域防火管理協議会】</p>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
視察及び意見交換への参加 施設の環境整備を図る	視察会開催回数	回	0.00	0.00	2.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内の営繕・管理を行う学校	市内学校数	校	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)
市内の学校の環境が整う	環境が整った学校数	校	14.00	13.00	13.00	13.00	13.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移		02年度 (実績)	03年度 (実績)	04年度 (計画)	05年度 (目標)	06年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	2,796	3,490	1,989	
		事業費計 (A)	千円	2,796	3,490	1,989	
	正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	03年度事業費 実績 (千円)			04年度事業費 予算 (千円)		
	10 需用費	9		10 需用費	8	
	12 委託料	3,239		12 委託料	1,733	
	13 使用料及び賃借料	196		13 使用料及び賃借料	196	
	18 負担金補助及び交付金	46		18 負担金補助及び交付金	52	
	合計	3,490		合計	1,989	

事務事業名	公立学校施設営繕管理事務	事務事業No.	20103000140	所属課	学校教育課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
学校施設の改修・建築等に関して、国庫補助事業の確保、国庫補助事業の拡充、地方財措置の充実及び体育施設の整備促進を図るべく期成会が創設された。 今後は、既存施設の耐震化と合わせて、長寿命化の比較検討が必要となってくる。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
特になし。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
現状維持	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 学校の営繕及び管理を行うこと、最新の公共建築や長寿命化事例を研究し、技術や制度を習得することは、教育環境の整備に結びつく。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 公立学校施設の営繕・管理を行うことに、市が税金を投与することは妥当な事である。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 年次計画により、施設の営繕管理を行っている。年代を反映させた事例研究もを行っているので、これ以上の向上の余地はない。
	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 施設の営繕・管理を行えなくなる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合)
公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 特になし。
	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 年次計画により、施設の営繕管理を行っている。これ以上の削減は難しい。	
⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)	
<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 各学校の営繕・管理を行っているので公平公正である。	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																		
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	令和3年度は、公立学校施設整備期成会、営繕主務者会議とともに、新型コロナウイルスの影響により視察による研修は行われず書面開催となった。 市内公立学校の環境整備という面においては、コロナ禍による突発的な休校に対して、通信環境を整備し、県内でも稀な双方向によるオンライン学習を実現させた。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																		
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上維持低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">向上維持</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上維持低下	コスト			削減	維持	増加	向上維持	向上		○	×	低下	×	×	×
成果	向上維持低下	コスト																		
		削減	維持	増加																
向上維持	向上		○	×																
	低下	×	×	×																
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		(6) 事務事業優先度評価結果																		
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 9																		

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> A A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認